

第31回

うつのみやこども賞だより

平成26年度 8回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

『あなたの夢におじゃまします』

岡田貴久子／著（ポプラ社）

～読んだ本の感想より～



●神さまがきつねでかわいいなと思った。いなり神社の神さまはみんなの幸せをねがっているんだなと思った。本の中の人もこの本を読んでいるわたしも幸せになった。

●いろいろな人のなやみをわかってから、なやみをかいけつできる物をゆめの中であげて、げんじつにでてくるなんてすごいなと思いました。

●夢におじゃまするという発想がおもしろかったです。

●稲荷神社の神様が、神様力を上げるために晴人をまきこんで人だすけをする所がおもしろかったです。

●「ブタヘンゲ」の解決法がよく分かりませんでした。

●キツネの神さまと晴人のやりとりがおもしろい。

『しえりの秘密のシール帳』 濱野京子／著（講談社）

●シールで日記をつけるなら、ほかの人には中身がバレないで自分にだけ分かるので、詩絵理の発想に感心しました。

●しえりとわこちゃんの会話や展開がおもしろかった。日常という観点からえがいた物語というのがおもしろくて印象に残った。

●うらないのラッキーカラーやアイテムで服などを選んでいるのが女の子らしいと思った。

●海人が占いをしんじる詩絵理をばかにしているように、ぼくも詩絵理の占いを信じるころは共感できませんでした。

『空へ』

いとうみく／著（小峰書店）

●お父さんと約束したことをちゃんと守って、さいごまであきらめなかったのが、ようすけのすごいところだと思います。

●陽介が父を亡くした事によって妹・母に対しての気持ちが変わっていく所が良かった。

●家族みんなで一つ一つ解決できてよかったと思いました。

●お父さんが死んでしまったときの家族の行動が感動しました。陽介の責任感もすごいと思いました。

●陽介がおみこしをかつぐところがよかったです。陽介の心の変化がよくわかりました。

『風味さんじゅうまる』 まはら三桃／著（講談社）

●和がしの名前がいろいろでてきて読みながらおなかがすいてきました。表紙のまんじゅうとカステラもおいしそうでした。

●風味◎という名前がきまったとき思わず読んでいる私もうれしくなりました。

●風味◎はすごくおいしそうで、私も食べてみたいと思いました。

●私も1回カンミトウを食べてみたいと思いました。